



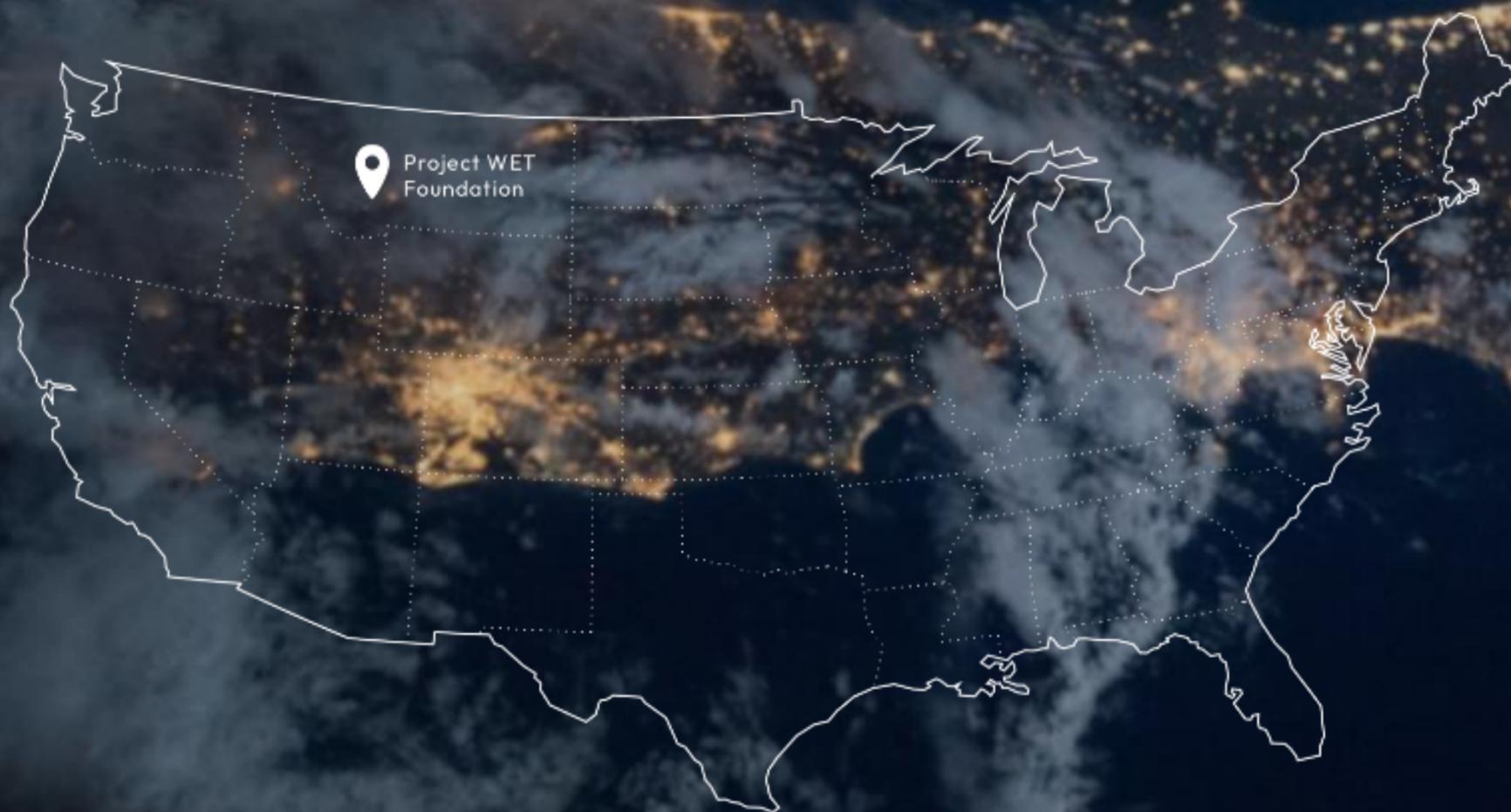
project WET

WATER EDUCATION TODAY

**understand and
value water**

Envisioning a world in which action-oriented education enables everyone to understand and value water, ensuring a sustainable future.

WHAT IS PROJECT WET?



世界75以上の国と地域で活用されている
アクティブ・ラーニング型の
国際水教育プログラムです。

300人以上の教師、資源管理者および科学者によって、系統立てて整理されたアクティビティが75以上の国と地域で使用されています。世界中で年間約15,000人の指導者（エドューケーター）が誕生し、何百万人もの子どもたちが、世界および地域の水資源を理解できるように学びをサポートしています。アクティビティは学校の授業やイベント、企業活動など様々な場面で活用でき、指導者自身のファシリテーション能力、表現力、コミュニケーション能力などの向上にも役立ちます。

プロジェクトWET財団について

プロジェクトWETは、「グローバルな課題を理解し、地域の解決策を見出すための水教育の推進」を理念として掲げている団体です。

モンタナ州にあるプロジェクトWET財団は、NASAや、国連の専門機関の一つWMO、ネスレやリーバイス、エコラボといった企業や団体と連携してプログラムを開発しています。2013年にはThe Global Journalが選ぶ世界のNGOトップ100に選出されました。



CORE BELIEFS

プロジェクトWETの信念

WATER
CONNECTS
US
ALL

水は、生命体や非生命体の中を通して動き、それらを生命の複雑なネットワークとして結びつけます。

WATER
IS
FOR
ALL
WATER
USERS

水を利用する者すべて（発電、農家や牧場、魚や野生生物、工場、レクリエーション、地方や都市の住民）にとって、水は質、量ともに十分であることが重要です。

WATER
MUST
BE
MANAGED
SUSTAINABLY

未来の子どもたちが、健全な環境で、社会的、経済的な安定を得られるようにするためには、持続的な水の管理が不可欠です。

WATER
DEPENDS
ON
PERSONAL
RESPONSIBILITY
AND
ACTION

水資源について認識し、それを尊重する気持ちを持つことは、それぞれ個人の生涯にわたる水に対する責任感と、積極的な社会参加意識を高めます。



HISTORY

プロジェクトWETの歴史

1984年、米国ノースダコタで、地下水の問題をこどもたちに理解してもらうために創設。その後、対象分野は水に関する様々なことに広がっています。

モンタナ州立大学にて
内務省開拓局の資金で複数州に展開

1989



1984

米国ノースダコタ州水委員会によって創設



1992-3

カリキュラムアンドアクティビティガイドを開発



1999

環境教育委員会（CEE）が公式スポンサーになる



2003

プロジェクトWETジャパン活動開始



2005

The Project WET International Foundation 創設



2011

カリキュラムアンドアクティビティガイド2.0を発行



ACTIVITIES IN JAPAN

プロジェクトWETジャパンについて

公益財団法人 河川財団は、河川・水教育の推進及び河川への理解を深めるための活動は当財団の重要なテーマと考え、2003年10月にプロジェクトWET財団（本部所在地：米国モンタナ州）と合意書を交わして使用权を得て、プロジェクトWETジャパンとして活動しています。



公益財団法人
河川財団



学ぶ・利用する

LEARN & USE

授業・イベントなどにご活用いただけます。

プロジェクトWETのプログラムは、一般向けの講習会のほか、オンラインコンテンツなど、様々な場面でご利用いただけます。



ACTIVITY

プロジェクトWETには全64種類のアクティビティがあり、
その中から主要なものをご紹介します。

驚異の旅 The Incredible Journey

サイコロを転がして、 水循環内の水の移動をシミュレート

こどもたちが、水の分子となってサイコロを転がし、
すごろくのように地球上の水循環を体験。土や雲など、生
徒ごとに異なる体験を互いに共有し、対話、新たな探求
につなげていくことで、私たちと水の間を学びます。

学習指導要領との関連性

🔵 理科

- ・ 金属、水、空気と温度（小学校4年）
- ・ 雨水の行方と地面の様子（小学校4年）
- ・ 天気の様子（小学校4年）
- ・ 植物の養分と水の通り道（小学校6年）
- ・ 生物と環境（小学校6年）



ACTIVITY STEPS

アクティビティのSTEP (驚異の旅)



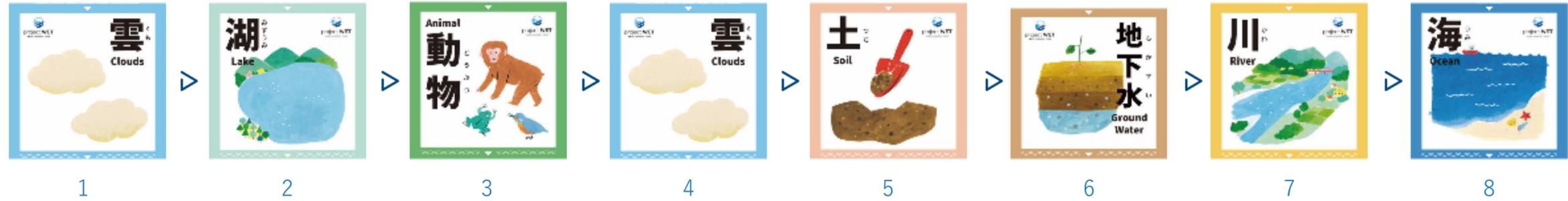
参加型の学習で児童・生徒が主体的に体験する。



Case: 1



私は、雲から色々な 場所に旅したよ。



「水の旅」は様々で毎回異なる

Case: 2



僕は、雲と海を行ったり来たりだったよ。



STEP

2

振り返る

自身の体験を文字や言葉にし、体験を共有する。



STEP

3

関連づける



「海」へ行く回数が多かったのは、海は広いからじゃない？



人間も動物だから川や湖の水を使うよね？

自身や他者の体験について話し合い、相違性や 共通性を考察したり他の実体験と結びつける。

STEP

4

応用する

雨がよく降るところと降らない地域があるのはなぜだろう...？



体験から得た気づきや学びを活かし、自分自身の新たな探求へ。



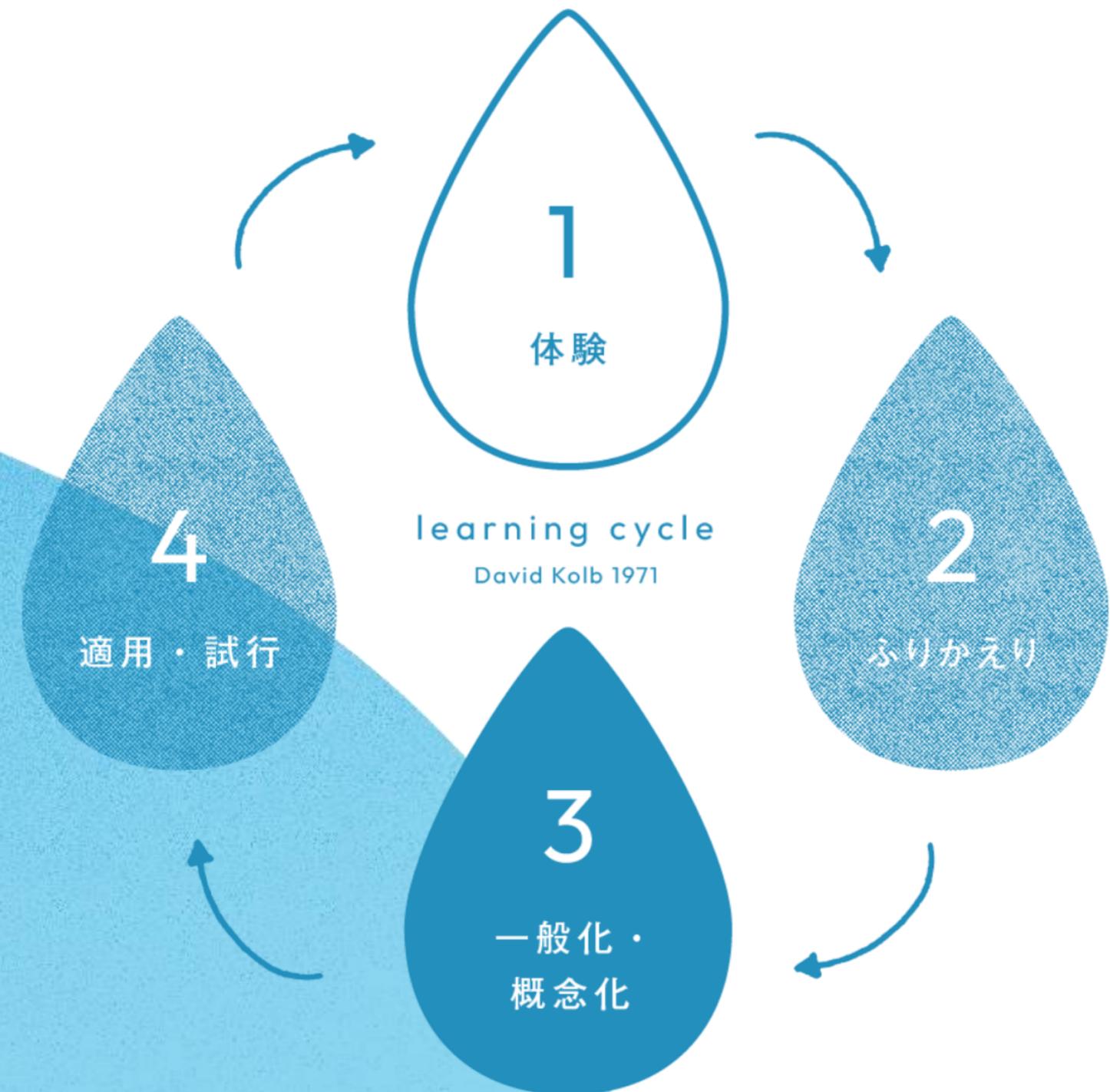
ACTIVE LEARNING

アクティブ・ラーニング

体験学習をベースとしたアクティビティにより、新しい時代に求められる資質・能力の育成や、社会課題解決力を養います。

主体的・対話的な深い学びを生ま出す 学習サイクル

体験学習をベースとしたプロジェクトWETはゲーム形式の体験から入ることにより主体的な興味関心を引き起こす仕掛けがされているのが特徴です。「体験」「ふりかえり」「一般化・概念化」「適用・試行」という4つのステップが、体験学習における学習サイクルの概念ともなり主体的・対話的で深い学びを生まだします。



FEATURE

プログラムの特徴

体験学習法にもとづき、水に対する「気づき」を促し、
学びを深め、「責任感」と「社会参加意識」を高めます。

近年、地球温暖化による気候変動、水循環のバランスや社会・経済などの変化を受け、水そのものについて理解を深める教育及び課題解決能力向上を図る教育の重要性が増してきました。価値対立があり、複雑で答えのない課題に対し、自ら考え行動する行動志向型の教育が今求められています。

なぜ水教育なのか？

すべてのこどもが自分たちの水がどこから来るのかを学んだり、学校で気候変動について学んだりすると想像してみてください。地域的および世界的な水問題は、教育を受けた水に関する社会を通じて、水システム、流域、気候を理解することによってのみ解決できます。

国の人材認定等事業に登録されています。

日本において、プロジェクトWETは「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律（改正後：環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律（平成23年法律第67号）」第11条第1項に規定する人材認定等事業に登録されています（主務大臣：環境大臣、文部科学大臣、国土交通大臣）。

<https://www.env.go.jp/policy/kyoiku/jinzai/wet.html>

さまざまな教育手法や
社会課題解決と
関連しています

Feature 01

アクティブ・
ラーニング

Feature 02

STEAM

Feature 03

ESD・SDGS

Feature 04

防災教育

Feature 05

体験学習



HOW TO USE THE PROGRAM

プログラムのご利用方法

USAGE : 1



講習会に参加する

18歳以上を対象とした6時間以上の講習会です。講習会では5種類以上のアクティビティを体験することができます。日本全国で随時開催されておりますので、ぜひご参加ください。

USAGE : 2



指導者を探す

講習会・イベントを開催できるエドューケーター、ファシリテーターが全国に約10,000人以上在籍しています。指導者をお探しの方は、プロジェクトWET事務局までお問い合わせください。

USAGE : 3



オンラインコンテンツで体験する

アクティビティをオンラインで体験することができます。「水」についてぜひ学んでみてください。



指導者になる

LEADERSHIP

指導者として水教育を行うことができます。

講習会を受けることで、自身が指導者（エドゥケーター）となって授業・ワークショップを開催することができます。さらに、ファシリテーター講習会を受講し、ファシリテーター（上級指導者）になるとエドゥケーターを養成するための講習会を開催することができます。



EDUCATOR TRAINING

エドゥケーター講習会

講習会を通じてスキルアップできます

アクティビティそのものや子ども達への指導方法を学ぶだけでなく、グループワークやプレゼンテーションなどを通じて、課題解決能力や発表能力等を磨くことができます。

講習会に参加・修了することでエドゥケーターになることができます

ファシリテーターによる講習会（6時間以上、5つ以上のアクティビィ）を受講いただくことでエドゥケーターになることができます。

学生・教員の方向けに「学割・教職員割引制度」もございます。



EDUCATOR LICENSE

エデュケーター資格

エデュケーター講習会を受講することで、授業・ワークショップの開催など、指導者として活動することができます。

1

ADVANTAGES

授業・ワークショップなどの開催

アクティビティそのものや子ども達への指導方法を学ぶだけでなく、グループワークやプレゼンテーションなどを通じて、課題解決能力や発表能力等を磨くことができます。

2

ADVANTAGES

保有資格として活用できる

「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」（平成15年法律第130号）第11条第1項に規定する人材認定等事業に登録されています。

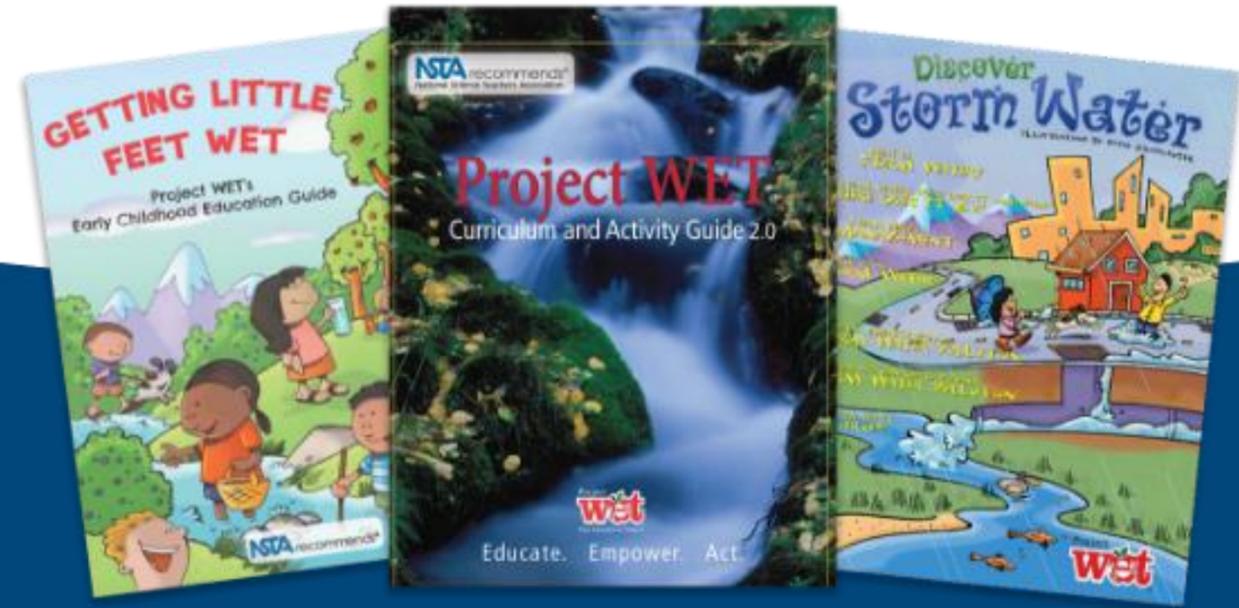
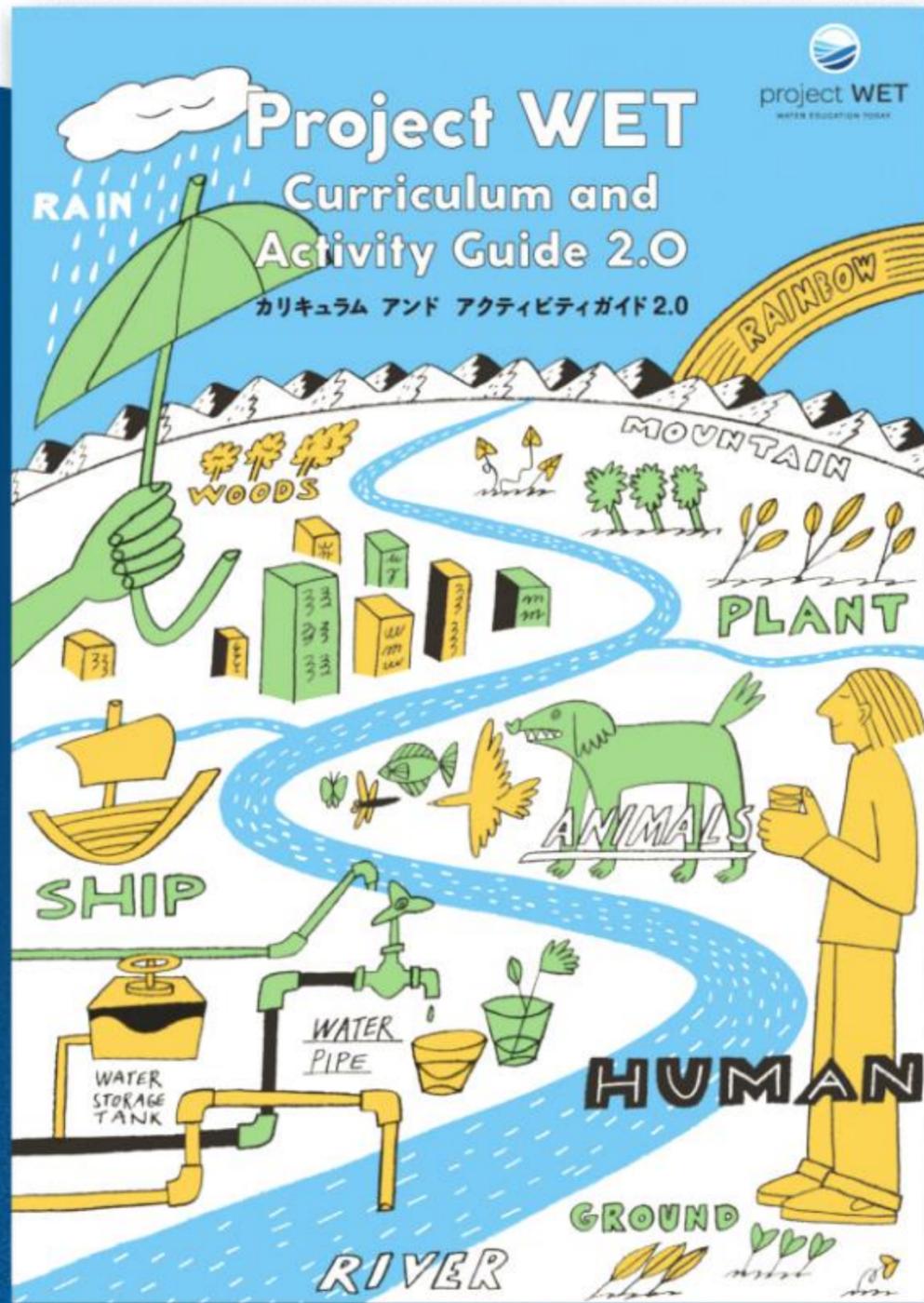
3

ADVANTAGES

プロジェクトWETからのサポート

指導者専用ページにアクセスすることができ、アクティビティに活用可能なワークシートやスライド資料など様々なツールや情報を得ることができます。





GUIDEBOOKS

カリキュラム アンド アクティビティガイド
(日本語版・英語版)

エドьюケーター資格を得られた方に、水に関する様々なアクティビティが掲載されているガイドブックをお渡ししています。



ACADEMIC



次世代の教育を担う学生等の方々が受講しやすくなるよう、
「プロジェクトWET導入校」制度を実施しています。

プロジェクトWET導入校ではエデュケーター講習会新規受講時に
「ガイドブック本編」の割引が受けられます。



FEATURES OF EACH

指導者の特徴

いずれの資格も国の人材認定等事業に登録されています。

EDUCATOR

エデュケーター（一般指導者）

プロジェクトWETを用いて、こどもたちに直接水に関する教育（こどもたちが水について学び、考える力を養うための手助けをすること）を行うことができます。

FACILITATOR

ファシリテーター（上級・普及指導者）

エデュケーターの活動に加えて、各地域でエデュケーターを養成する資格を持ち、プロジェクトWETの普及および水に関する教育を促進する上級・普及指導者です。



SKILL UP FLOW

スキルアップの流れ

エドゥケーターのみでも、ファシリテーターを目指すことも、ご自身の目的に応じてスキルアップいただけます。

[Skill Up : 01]



エドゥケーター
講習会を受講

ファシリテーターが開催する
エドゥケーター講習会（1日間）



[Skill Up : 02]



エドゥケーター
（一般指導者）として活躍

プロジェクトWETを利用した
水教育を実践



[Skill Up : 03]



ファシリテーター
講習会を受講

プロジェクトWETジャパンが
開催する講習会（2日間）



[Skill Up : 04]



ファシリテーター（上級・
普及指導者）として活躍

一般指導者の資格を持ち、
さらに他の一般指導者を養成



講習会開催数（2004-2022年度）

845 回



VIEW IN DATA

スキルアップの流れ

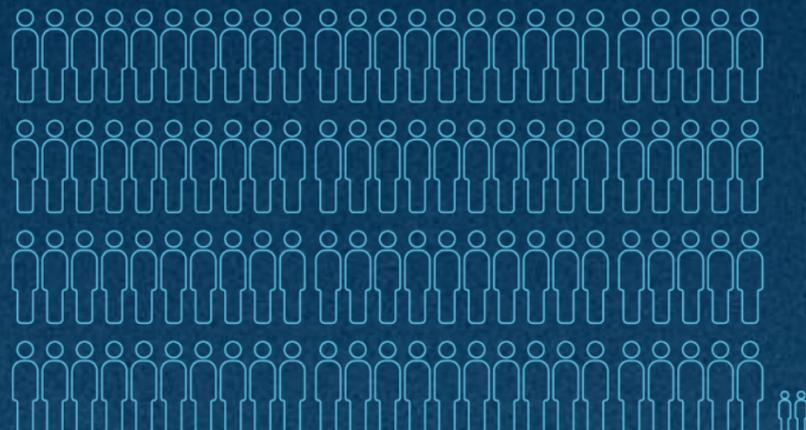
全国各地でファシリテーターによる講習会が開催されており、これまでに10,000人以上のエducーターが誕生しています。

学生が約半数を占めつつ、教員・会社員・ボランティア等、様々な方がプロジェクトWETを通じて、水について子どもたちと考える活動を行っています。

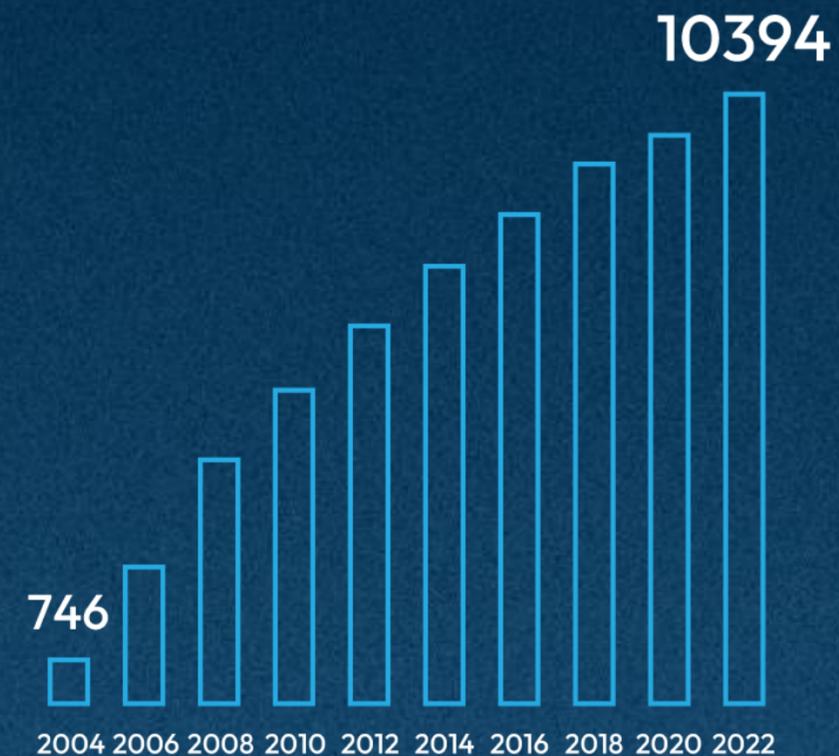
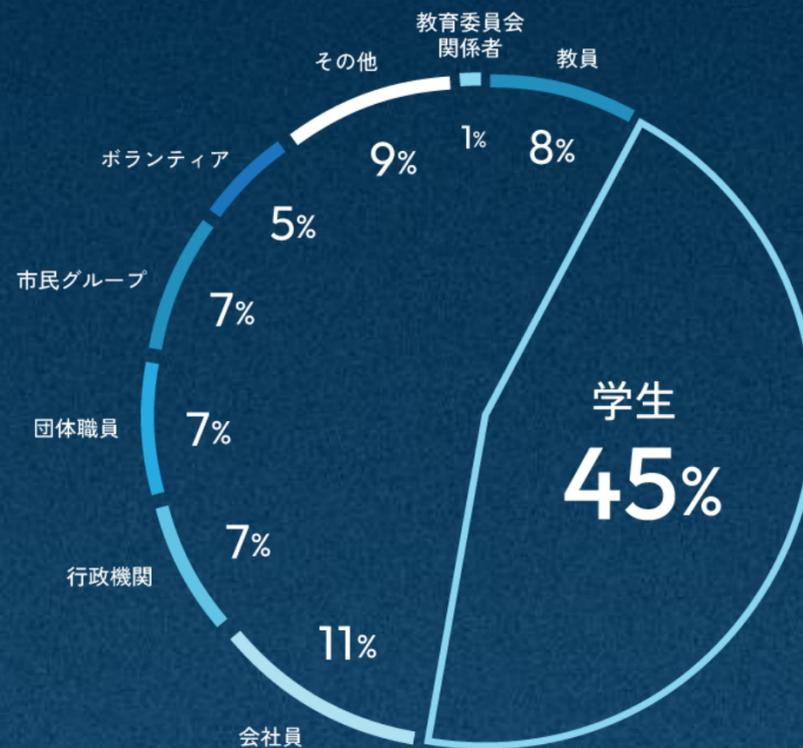


VIEW IN DATA

EDUCATOR 約10000人



FACILITATOR 約350人



指導者の数

指導者（エデュケーター）の所属分布

指導者（エデュケーター）の登録数の推移





Online Contents

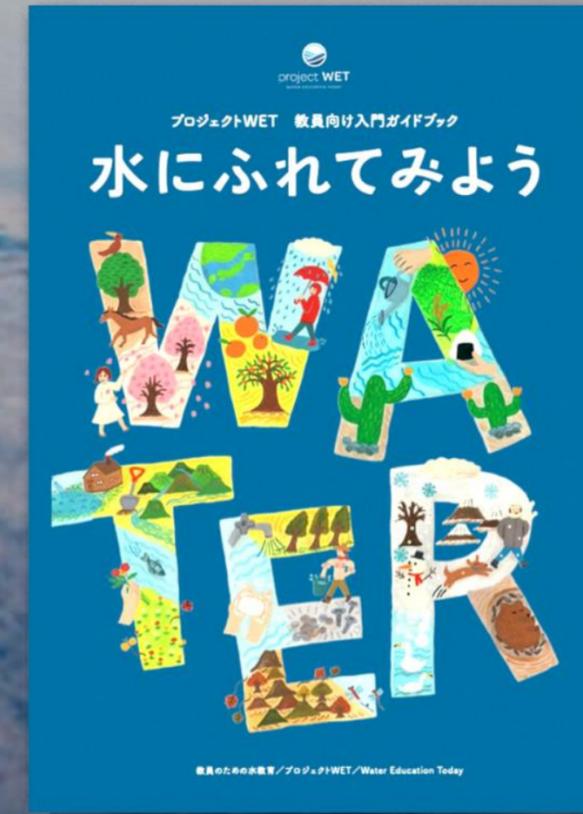


オンラインコンテンツ

一部アクティビティはオンラインコンテンツとして本サイト内でご利用可能です。プロジェクトWETの学びをお気軽に体験いただけます。（インストール不要の無料コンテンツです）

Introductory Guidebook

FOR TEACHERS



教員向け入門ガイドブック

プロジェクトWETにもっと興味を持っていただくために、米国幼児向けガイドブック「Getting Little Feet WET」に収録されているアクティビティをコンパクトにまとめた教員向け入門用ガイドブック「水にふれてみよう」を公開しています。指導者資格を持たれていない方も、本書を使って授業を行うことができます。

※教員でない方もご利用いただけます。





project **WET**

WATER EDUCATION TODAY